

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

8/10

統計リテラシー No.9

研究デザインを読み分ける —— RCT・コホート・症例対照・横断研究を比較する

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。医学研究の問題で「この研究はコホート研究です」という識別だけで終わる答案と、各研究デザインの長所・短所を証拠の階層として論証した答案の評価の差を、採点者として繰り返し目にしてきた。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① 研究デザインの識別・比較問題

東京大学・慶應義塾大学医学部・京都府立医科大学の生物・医学系問題では、「この研究デザインの問題点を指摘し、より適切なデザインを提案せよ」という問題が出題される。RCT・コホート・症例対照・横断研究の長所・短所を証拠の階層として論じられる受験生は採点者（大学教員）に際立つ。

② 「なぜRCTがゴールドスタンダードか」を問う問題

「観察研究ではなくRCTで検証すべき理由を論じよ」という問いは、医学部推薦入試で出題される。ランダム化・盲検化という概念で論じられる受験生は感想論述との差が歴然とする。

③ 医学部推薦・口頭試問

「コホート研究と症例対照研究の違いを説明せよ」という問いは、医学部口頭試問で定番である。時間の流れと研究の方向性として即答できる受験生は試験官（大学教員）に際立つ。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学 理科（医学部）	研究デザインの識別・比較論述問題	証拠の階層として研究デザインを論じる力が際立つ
慶應義塾大学 医学部	RCTとゴールドスタンダードの問題	ランダム化・盲検化の概念が論証の根拠になる
奈良県立医科大学・横浜市立大学 医学部	研究デザインの比較・選択論述	各デザインの長所・短所を論じる力が採点者に際立つ
医学部推薦・総合型選抜（全般）	「コホートと症例対照の違い」型の口頭試問	採点者（大学教員）に時間の流れとして即答できる

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

研究デザインを「名称の識別」だけで対処している受験生は、「なぜそのデザインか」「この研究の問題点は何か」という問いに答えられない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）RCT・コホート・症例対照・横断研究を証拠の階層として論じられる、（2）各デザインの長所・短所を使った研究批判ができる、（3）口頭試問で研究デザインの違いを即座に語れる、という変化が起きる。

何十年も医学部の答案を採点してきた清光学院の講師陣は、研究デザイン問題で「名称識別の答案」と「証拠の階層として論じた答案」の評価の差を採点者として知っている。